

事務事業マネージメントシート

作成日 平成27年 04月 20日

事務事業名	道路改良事業（市道1042号線）			担当	建設部 建設課 道路建設係			
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			電話番号	0285 83 8149		
施策名	05	道路ネットワークの整備			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名								
法令根拠					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
予算科目	1.一般会計	8.土木費	2.道路橋りょう費	3.道路新設改良費		<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）		
事業概要	<p>・狭隘道路を解消し、安全で円滑な交通を確保することにより、効率的で機能的な道路ネットワークを構築する事業である。 ・大田山、西郷地内の市道107号線（六地蔵）から市道183号線との交差点（大田山市営住宅）までの生活道路について、延長約330mの区間を、児童・生徒の通学時の安全を確保するため、ゆうゆう路肩（幅員1.5m）を両側に配置した幅員7mに拡幅整備する事業である。</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 26年度実績 ・詳細設計、用地測量、物件調査	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
27年度計画 ・物件補償、用地取得	ア：道路改良工事延長	m			0	0	0
	イ：用地買収	件			0	0	7
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 ・未改良道路及び道路利用者（市民）	ウ：物件補償	件			0	0	11
	エ：測量、設計等業務委託	件			1	3	0
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・安全で円滑な交通の確保	オ：						
	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） ・道路ネットワークの整備	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア：未改良道路延長	k m			350.7	349.7	349.6
⑤意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・安全で円滑な交通の確保	イ：道路利用者（市民）	人			80,929	80,698	80,590
	ウ：						
⑥結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） ・道路改良率	エ：						
	オ：						
⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア：整備率（事業費ベース）	%			5.7	19.4	47.0
⑨結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） ・道路改良率	イ：市道改良率	%			72.6	72.7	72.7
	ウ：						
⑩結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） ・道路改良率	エ：						
	オ：						
(2) 総事業費の推移							
投 入 量	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
事業費 財源内訳	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
人件費	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	2,415	6,599	0
事業費計（A）		千円	0	0	2,415	6,599	0
人件費	正規職員従事人数	人	0	0	1	2	0
	延べ業務時間	時間	0	0	20	40	0
人件費計（B）		千円	0	0	81	169	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	2,496	6,768	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？		<ul style="list-style-type: none"> 平成24年2月に地元区長及び関係者から拡幅要望書が提出されたことによる。 平成24年7月市生活道路事業採択評価委員会にて児童・生徒の通学の安全を確保するため、施策的事業として取組むことを決定する。 					
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		<ul style="list-style-type: none"> 接続する市道107号線が平成26年2月に主要地方道宇都宮真岡線から国道121号まで全線開通し、交通量の増加が見込まれる。 					
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？		<ul style="list-style-type: none"> 地区住民から早期完了を望まれている。 					

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・狭隘な道路を解消し、安全で円滑な交通を確保することは道路ネットワークの整備に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・道路は不特定多数の人が利用するものであり、市が行うことは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・道路利用者の連絡道路として、また地域住民が生活道路にも利用する道路であり、対象は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・計画通り進行している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・廃止・休止した場合、道路利用者及び地域住民は、通行に危険である狭隘な道路を通行しなければならない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない ・現道を拡幅整備するものであり、道路改良事業以外方法はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・測量、設計業務について、積算基準等に基づき適正に実施しており削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・事業説明会から設計・監督業務まで必要最小限の人員で行っている。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・道路は不特定多数の人が利用するもので公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								